

「東京水道施設整備マスタープラン」施設整備指標（令和5年度）

（単位：％）

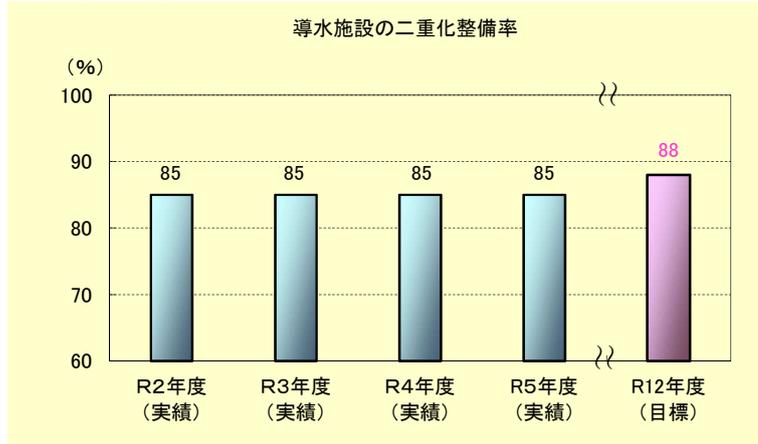
	キーワード	取組 No.	指標 No.	指標	算定方法	R4年度【実績】	R5年度【実績】	R12年度【目標】
安全で高品質な水の安定供給	適正管理・計画的更新・高品質の追求	取組2	①	導水施設の二重化整備率	$\frac{\text{整備された導水施設数}}{\text{二重化すべき導水施設数}} \times 100$	85	85	88
		取組4	②	送水管ネットワークの整備率	$\frac{\text{整備された送水管延長}}{\text{ネットワーク化に資する送水管延長}} \times 100$	83	85	93
		取組5	③	安定給水確保率	$\frac{\text{配水区域を持つ浄水場・給水所の配水池容量}}{\text{計画一日最大配水量の12時間相当}} \times 100$	85	87	89
		取組7	④	残留塩素目標達成率	$\frac{\text{0.1~0.4mg/Lの自動水質計器データ数}}{\text{自動水質計器データ数}} \times 100$	92	89	94
		取組8	⑤	長期不使用給水管対応率	$\frac{\text{撤去された件数}}{\text{撤去対象件数}} \times 100$	13	28	R7年度100
様々な脅威への備え	基盤強化・強靱化・事業継続	取組11	⑥	浄水施設耐震化率	$\frac{\text{耐震化された浄水施設能力}}{\text{浄水場の施設能力}} \times 100$	14	14	69
		取組12	⑦	配水池耐震施設率	$\frac{\text{耐震化された配水池容量}}{\text{配水池容量}} \times 100$	82	83	98
		取組13	⑧	管路の耐震継手率	$\frac{\text{耐震継手化された配水管延長}}{\text{配水管延長}} \times 100$	50	51	61
			⑨	地震発生時の断水率 ※1	$\frac{\text{断水の影響を受ける人口}}{\text{給水人口}} \times 100$	26	25	19
			⑩	重要施設への供給ルートの耐震継手率	$\frac{\text{耐震継手化された供給ルートの管路延長}}{\text{供給ルートの管路延長}} \times 100$	概成	概成	R4年度100
			⑪	取替困難管解消率（ダクタイル化率100%）	$\frac{\text{取替困難管解消延長}}{\text{取替困難管延長}} \times 100$	48	56	R8年度100
			⑫	取替優先地域解消率 ※2	$\frac{\text{断水率が50%を下回っている区域数}}{\text{都内の細分化した区域数}} \times 100$	91	92	R10年度100
		取組13	⑬	取替優先地域の管路取替率 ※2	$\frac{\text{耐震継手化された管路延長}}{\text{取替優先地域の解消に必要な耐震継手化延長}} \times 100$	⑫取替優先地域解消率と統合		
		取組14	⑭	私道内給水管耐震化率	$\frac{\text{耐震化された給水管延長}}{\text{私道内給水管整備延長}} \times 100$	51	52	67
		取組15	⑮	大規模停電時における給水確保率	$\frac{\text{給水確保量}}{\text{全施設停電時における給水目標量}} \times 100$	67	68	92
			⑯	自家発電設備の燃料確保率（72時間）	$\frac{\text{燃料確保量}}{\text{72時間運転するために必要な燃料確保量}} \times 100$	48	54	83
取組16	⑰	河川横断管路の地中化整備率	$\frac{\text{地中化された箇所}}{\text{河川横断管路の地中化優先整備箇所}} \times 100$	0	0	18		
新技術活用	技術の高度利用・技術革新力の強化・環境への配慮	取組17	⑱	デジタル技術を活用した研修の受講人数	対象の研修を受講した人数	682人	766人	300人/年
			⑲	AIによる運転管理サポート機能開発の進捗率	$\frac{\text{AIによる運転管理サポート機能開発状況}}{\text{AIによる運転管理サポート機能開発}} \times 100$	97	100	R5年度100

※1 令和4年5月に公表された「首都直下地震等による東京の被害想定」において、断水率が最大と想定される都心南部直下地震が発生した場合の目標と実績に見直しました。

※2 これまでの区市町単位から、250m四方に細分化した区域において震災時の断水率が50%を超える区域を取替優先地域と位置づけ、耐震継手化を重点的に推進していきます。

① 導水施設の二重化整備率 (%)

【目標値（令和12年度）に対する達成状況】
達成率 97%



指標の説明 二重化すべき導水施設において、整備が完了した割合

$$\text{算出式} = \frac{\text{整備された導水施設数}}{\text{二重化すべき導水施設数}} \times 100$$

【令和5年度事業実施状況】

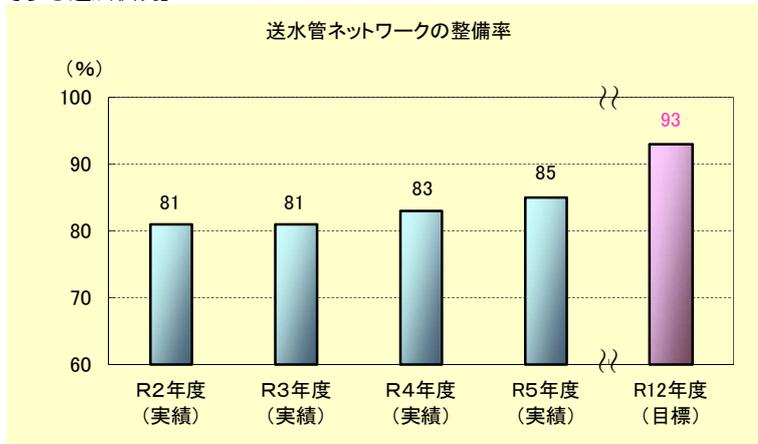
[完成]

[工事] 東村山境線（仮称）

[調査・設計] 第二朝霞引入水路（仮称）整備、上流部浄水場（仮称）関連導水管整備

② 送水管ネットワークの整備率 (%)

【目標値（令和12年度）に対する達成状況】
達成率 91%



指標の説明 ネットワークを形成するために必要な送水管において、整備が完了した割合

$$\text{算出式} = \frac{\text{整備された送水管延長}}{\text{ネットワーク化に資する送水管延長}} \times 100$$

【令和5年度事業実施状況】

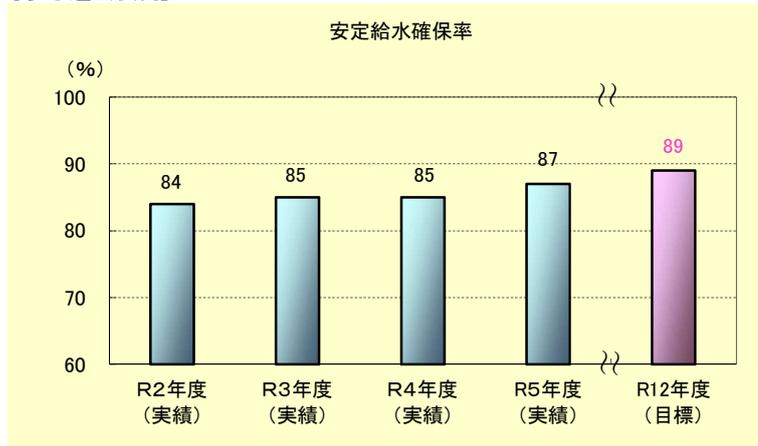
[完成] 第二朝霞上井草線、上北沢給水所関連送水管

[工事]

[調査・設計] 新城南幹線（仮称）、上流部浄水場（仮称）関連送水管、境浄水場関連送水管、新青山線（仮称）

③安定給水確保率（％）

【目標値（令和12年度）に対する達成状況】
達成率 98％



指標の説明 配水区域を持つ浄水場や給水所などにおいて、配水池により、目標の水量（計画一日最大配水量の12時間分）を確保した割合

$$\text{算出式} = \frac{\text{配水区域を持つ浄水場・給水所の配水池容量}}{\text{計画一日最大配水量の12時間分}} \times 100$$

【令和5年度事業実施状況】

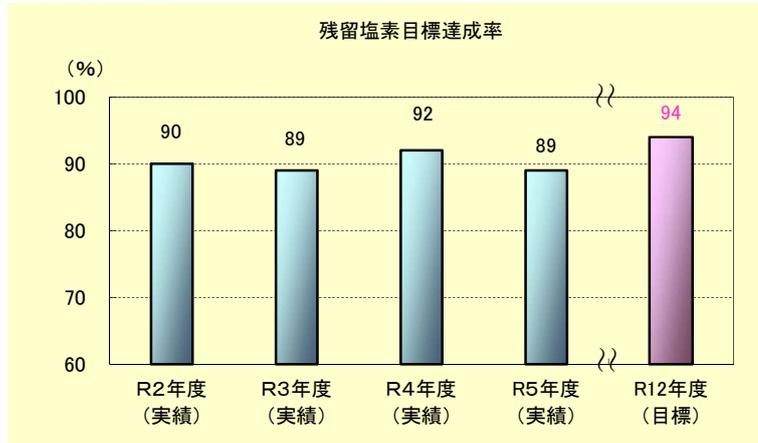
【完成】上北沢給水所

【工事】王子給水所（仮称）、和田堀給水所、柴崎給水所、深大寺給水所、小野路給水所、福生武蔵台給水所

【調査・設計】新玉川給水所（仮称）、代々木給水所（仮称）、根ヶ布給水所、若松給水所

④残留塩素目標達成率（％）

【目標値（令和12年度）に対する達成状況】
達成率 95％



指標の説明 都内131か所（令和元（2019）年度末）の給水栓に設置した自動水質計器において、都独自のおいしさに関する水質目標である残留塩素濃度0.1～0.4mg/Lを満たすデータ数の割合

$$\text{算出式} = \frac{\text{0.1～0.4mg/Lの自動水質計器データ数}}{\text{自動水質計器データ数}} \times 100$$

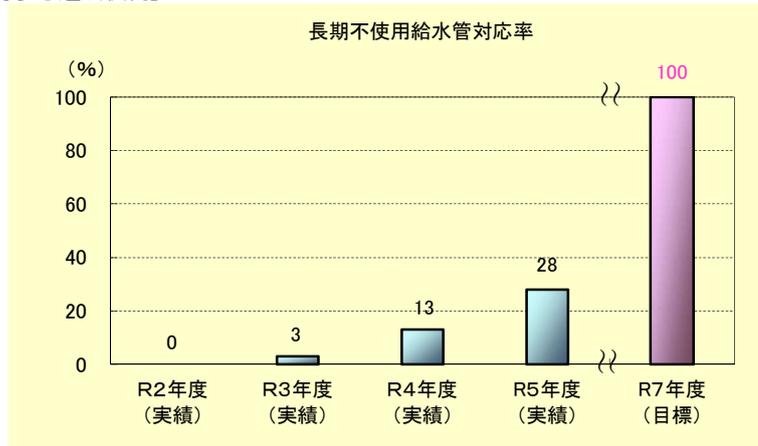
【令和5年度事業実施状況】

浄水場及び給水所での塩素注入管理を実施しました。残留塩素濃度の測定結果は次のとおりです。

- ・都内131か所に設置した自動水質計器で毎日測定
- ・47,943データのうち42,754データで水質目標数値を達成

⑤長期不使用給水管対応率 (%)

【目標値（令和7年度）に対する達成状況】
達成率 28%



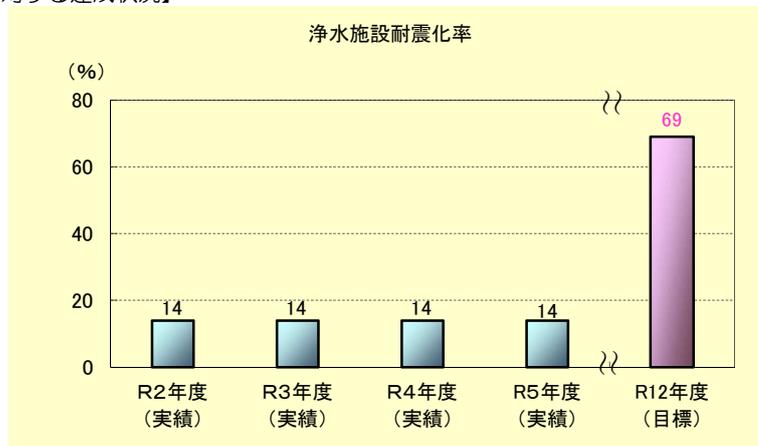
指標の説明 対応が必要となる長期不使用給水管を撤去した割合

$$\text{算出式} = \frac{\text{撤去された件数}}{\text{撤去対象件数}} \times 100$$

【令和5年度事業実施状況】
お客さまから撤去の同意が得られた給水管について順次撤去工事を行い、長期不使用給水管の撤去が1,683件完了しました。

⑥浄水施設耐震化率 (%)

【目標値（令和12年度）に対する達成状況】
達成率 20%



指標の説明 着水井から配水池までの浄水施設を耐震化した割合

$$\text{算出式} = \frac{\text{耐震化された浄水施設能力}}{\text{浄水場の施設能力}} \times 100$$

【令和5年度事業実施状況】

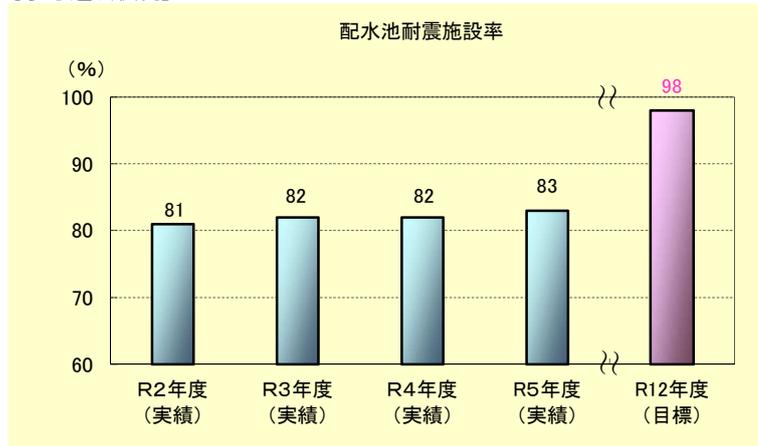
[完成]

[工事]

[調査・設計] 金町浄水場（高度浄水ポンプ所、ろ過池、沈殿池）、三郷浄水場（沈殿池）、朝霞浄水場（沈殿池・急速かくはん池）、三園浄水場（急速かくはん池）、砧浄水場（分水井）

⑦配水池耐震施設率 (%)

【目標値（令和12年度）に対する達成状況】
達成率 85%



指標の説明 浄水場や給水所などの配水池を耐震化した割合

$$\text{算出式} = \frac{\text{耐震化された配水池容量}}{\text{配水池容量}} \times 100$$

【令和5年度事業実施状況】

【完成】

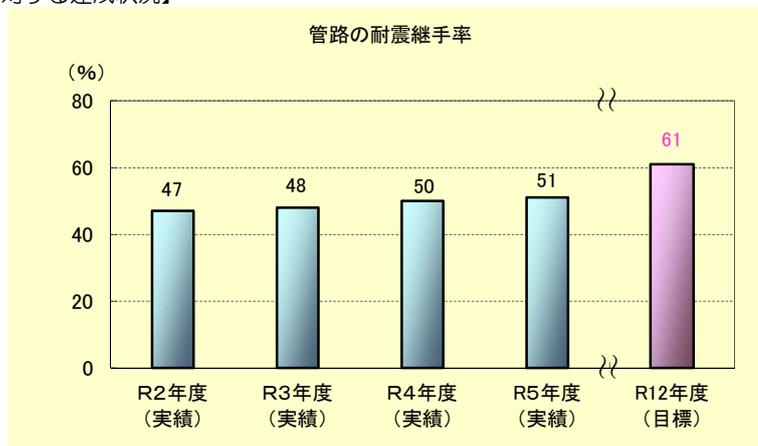
【工事】水元給水所、聖ヶ丘給水所、芝久保給水所、石畑給水所

【調査・設計】金町浄水場、大蔵給水所、本郷給水所、東浅川給水所、南野給水所、高月給水所

様々な脅威への備え

⑧管路の耐震継手率 (%)

【目標値（令和12年度）に対する達成状況】
達成率 84%



指標の説明 配水管における耐震継手管の割合

$$\text{算出式} = \frac{\text{耐震継手化された配水管延長}}{\text{配水管延長}} \times 100$$

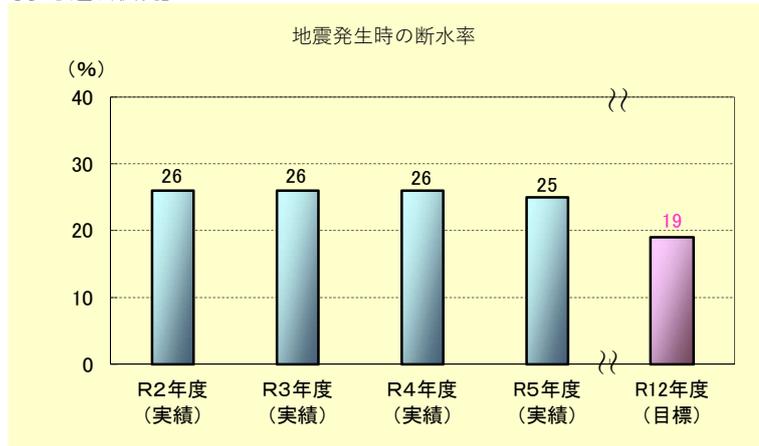
【令和5年度事業実施状況】

耐震継手化を推進した結果、耐震継手管の延長は約416km増加しました。

様々な脅威への備え

⑨地震発生時の断水率（％）

【目標値（令和12年度）に対する達成状況】
達成率 93%



指標の説明 都心南部直下地震が発生した場合に断水が想定される給水人口の割合

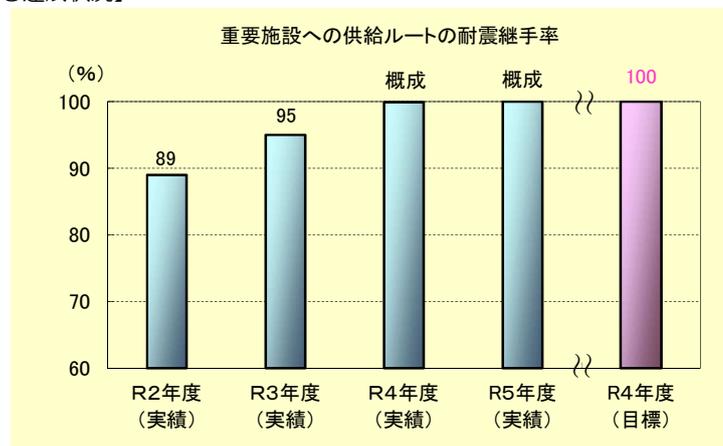
$$\text{算出式} = \frac{\text{断水の影響を受ける人口}}{\text{給水人口}} \times 100$$

【令和5年度事業実施状況】
配水管の耐震継手化について、計画的に取り組んだ結果、地震発生時の断水率を軽減しました。

※「首都直下地震等による東京の被害想定」（令和4年度 東京都防災会議）において、断水率が最大と想定される都心南部直下地震を想定

⑩重要施設への供給ルートの耐震継手率（％）

【目標値（令和4年度）に対する達成状況】
達成率 概成



指標の説明 重要施設[※]への供給ルートにおける耐震継手管の割合

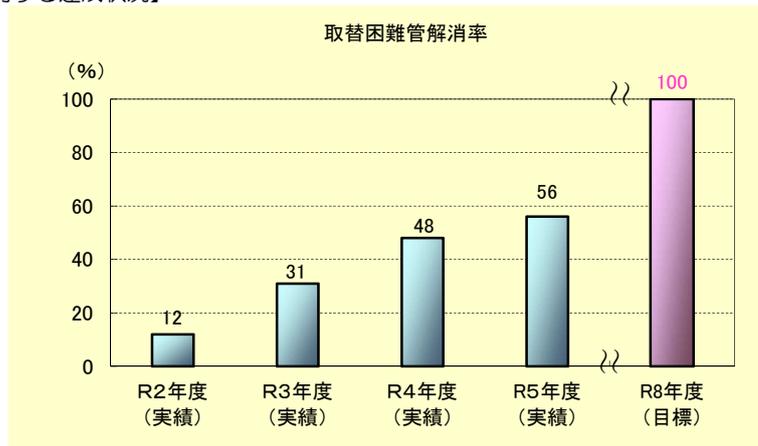
$$\text{算出式} = \frac{\text{耐震継手化された供給ルートの管路延長}}{\text{供給ルートの管路延長}} \times 100$$

【令和5年度事業実施状況】
避難所や主要な駅などの重要施設への供給ルートの耐震継手化については、令和4年度に概成しました。

※重要施設：政府関係機関、国会等の首都中枢機関や三次救急医療機関を始めとした救急医療機関、区市役所、避難所・主要な駅、大規模救出救助活動拠点、自衛隊施設及び空港・ヘリポート施設、警察・消防施設、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会会場等

⑪取替困難管解消率（ダクトイル化率100%）（%）

【目標値（令和8年度）に対する達成状況】
達成率 56%



指標の説明 取替困難箇所に残存する漏水リスクの高い管路の解消割合

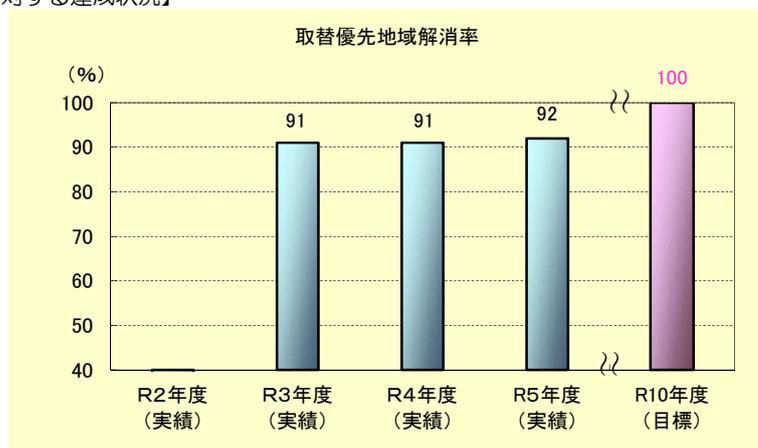
$$\text{算出式} = \frac{\text{取替困難管解消延長}}{\text{取替困難管延長}} \times 100$$

【令和5年度事業実施状況】

取替困難管の解消を推進した結果、約1km解消しました。

⑫取替優先地域解消率（%）

【目標値（令和10年度）に対する達成状況】
達成率 92%



指標の説明 取替優先地域^{*}が解消された割合

$$\text{算出式} = \frac{\text{断水率が50%を下回った区域数}}{\text{都内の細分化した区域数}} \times 100$$

【令和5年度事業実施状況】

配水管の耐震継手化について、計画的に取り組んだ結果、取替優先地域の解消率が上昇しました。

※断水率が50%を超える細分化した区域

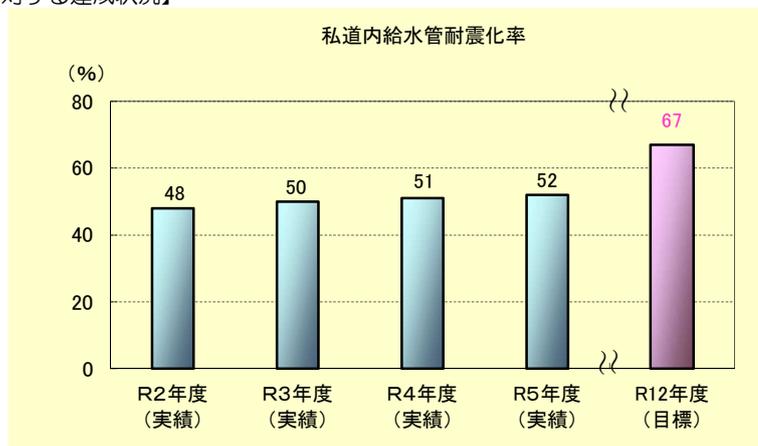
⑬取替優先地域の管路取替率 (%)

様々な脅威への備え

「首都直下地震による東京の被害想定」の見直しに伴い、
⑫取替優先地域解消率と統合しました。

⑭私道内給水管耐震化率 (%)

【目標値（令和12年度）に対する達成状況】
達成率 78%



指標の説明 私道に布設された給水管を耐震化した割合

$$\text{算出式} = \frac{\text{耐震化された給水管延長}}{\text{私道内給水管整備延長}} \times 100$$

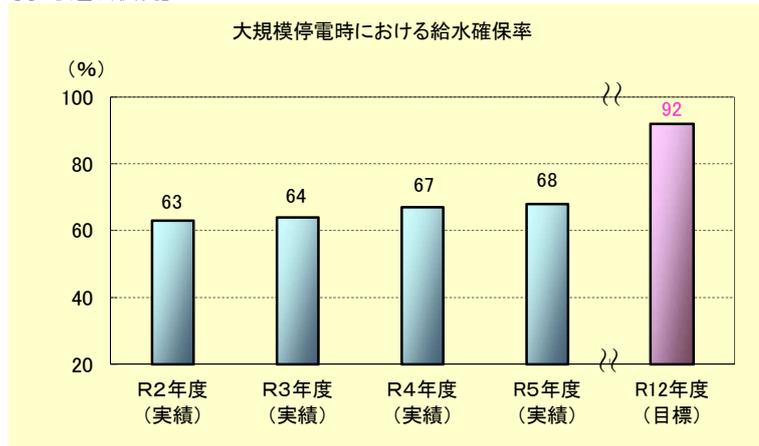
【令和5年度事業実施状況】

耐震化を推進した結果、耐震化された給水管は約32km増加しました。

様々な脅威への備え

⑮大規模停電時における給水確保率（％）

【目標値（令和12年度）に対する達成状況】
達成率 74％



指標の説明 給水目標量（計画一日平均配水量）に対して、停電時において自家用発電設備の稼働により供給が可能となる給水確保量（配水量）の割合

$$\text{算出式} = \frac{\text{給水確保量}}{\text{全施設停電時における給水目標量}} \times 100$$

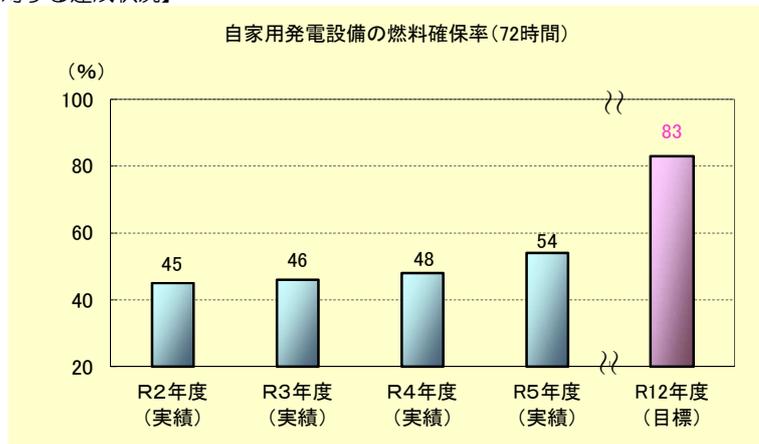
【令和5年度事業実施状況】

- 〔完成〕 三郷浄水場、うなぎ第一配水所、上恩方増圧ポンプ所、小津増圧ポンプ所
- 〔工事〕 朝霞浄水場、上北沢給水所、砧下浄水所、石畑増圧ポンプ所、北野増圧ポンプ所
- 〔調査・設計〕 三園浄水場、金町浄水場、練馬給水所、板橋給水所、東村山浄水場

様々な脅威への備え

⑯自家用発電設備の燃料確保率（72時間）（％）

【目標値（令和12年度）に対する達成状況】
達成率 65％



指標の説明 自家用発電設備が72時間稼働するために必要な燃料を確保している割合

$$\text{算出式} = \frac{\text{燃料確保量}}{\text{72時間運転するために必要な燃料確保量}} \times 100$$

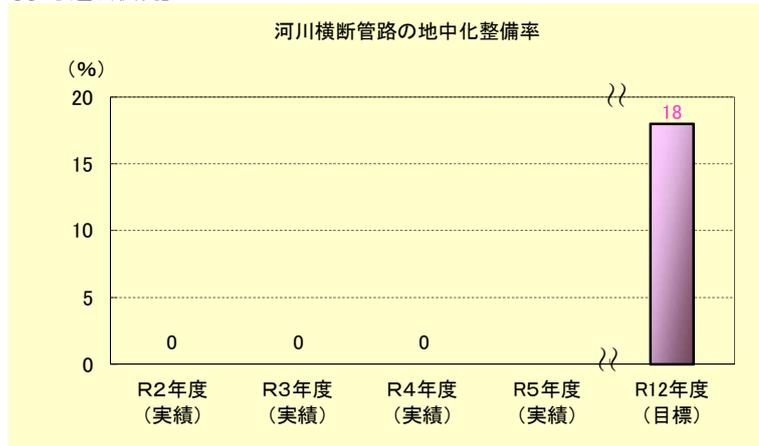
【令和5年度事業実施状況】

- 〔完成〕 三郷浄水場、うなぎ第一配水所、上恩方増圧ポンプ所、小津増圧ポンプ所
- 〔工事〕 朝霞浄水場、上北沢給水所、砧下浄水所、石畑増圧ポンプ所、北野増圧ポンプ所
- 〔調査・設計〕 三園浄水場、金町浄水場、練馬給水所、板橋給水所、東村山浄水場

様々な脅威への備え

⑰河川横断管路の地中化整備率（％）

【目標値（令和12年度）に対する達成状況】
達成率 0％



指標の説明 優先的に整備する水管橋等を地中化した割合

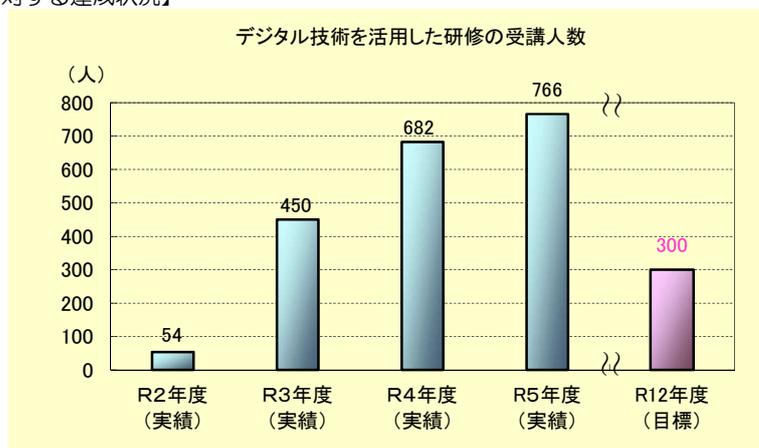
$$\text{算出式} = \frac{\text{地中化された箇所数}}{\text{河川横断管路の地中化優先整備箇所}} \times 100$$

【令和5年度事業実施状況】
河川横断管路の地中化は、計画どおり実施設計及び工事を実施しました。

様々な脅威への備え

⑱デジタル技術を活用した研修の受講人数（人）

【目標値（令和12年度）に対する達成状況】
達成率 255％



指標の説明 局研修のうちデジタル技術を活用した研修の受講人数

$$\text{算出式} = \text{対象の研修を受講した人数}$$

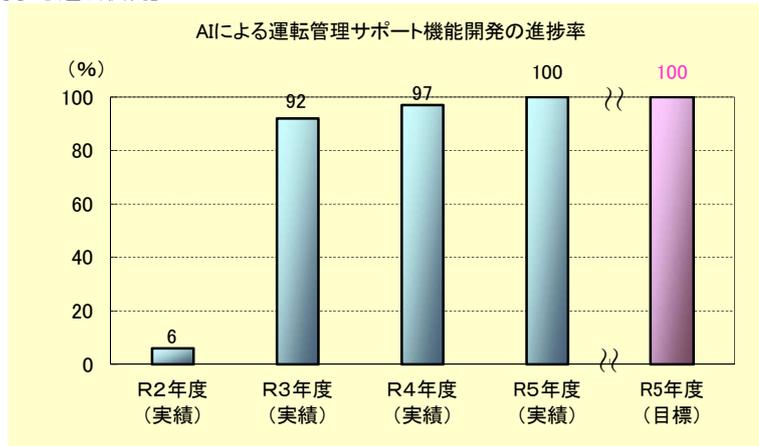
【令和5年度事業実施状況】
VRを活用した局研修を開催し、計766名の職員（政策連携団体の社員含む）が受講しました。

新技術を活用した水道システムの構築

⑱ AIによる運転管理サポート機能開発の進捗率 (%)

【目標値（令和5年度）に対する達成状況】

達成率 100%



指標の説明 浄水処理における薬品注入監視をAIによりサポートする機能の開発状況

$$\text{算出式} = \frac{\text{AIによる運転管理サポート機能開発状況}}{\text{AIによる運転管理サポート機能開発}} \times 100$$

【令和5年度事業実施状況】

三園浄水場において計画とおり運転管理サポート機能の予測精度の検証及び実機での検証を完了し、運用を開始しました。